

開発課題実習 最優秀賞

中国職業能力開発大学校

医療用ストロー加工装置の開発

生産機械システム技術科
生産電気システム技術科
生産電子情報システム技術科

板垣 颯馬、大野 聖斗、重宗 勇翔、鷹取 佑弥
岡本 和馬、妹尾 明彦、姫田 誠悟、柳野 龍之介
阿部 元春、亀山 蓮斗、木倉 弘人、杉本 陸、
友國 涼太、山下 紫月



<受賞者コメント>

この度は、最優秀賞という名誉ある賞をいただき、また評価していただき誠にありがとうございます。

本開発は、岡山県特有の麦わらの加工から始まり、現在ストロー加工を主業務として行っている企業様からの依頼で、多くを手作業で行っていることから、品質の安定とFA化による省人化を目的として、装置を開発いたしました。3年間の開発期間で、1年目でのストロー加工のノウハウ把握、2年目の加工と検査の基礎データを蓄積を経ることで、3年目で安定生産が行える装置を完成させることができました。

軽量でかつ薄いストローを取り扱うことは非常に難しく苦心しました。特に加工と検査は機械、電気、電子情報のメンバーが常に協力しながら、一連の動作完成まで調整し、最終的には企業での試験運用を行っていただける装置を開発することができました。

メンバー全員、4月から社会の一員として、今回の成功体験を活かし、日々精進していきたいと思っております。